



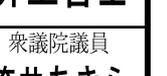
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

子どものインフルエンザ予防接種署名

第1次分 423筆を桜井市長に

新日本婦人の会小矢部支部（上田由美子支部長）は8月7日、インフル予防接種の補助金を1回2千円に復活するよう求める請願署名を桜井市長に提出しました。子育て世代から寄せられた切実な願いを込めた署名の第1次分として423筆になりました。

新日本婦人の会 小矢部支部が提出



こどものインフルエンザ予防接種は13歳未満2回、13歳以上1回が必要で、その接種費用は1回2500円から3500円です。この負担がたいへんで、接種を受けたいと1回だけにするとということもありました。2017年度から市は1回2千円補助することにして、若いお母さん方からたいへん喜ばれました。

桜井市長に請願署名を手渡す新日本婦人の会（支部長・上田由美子氏は右から二人目）の皆さん
8月7日、市長応接室
フルエンザによる学級閉鎖が小矢部市では、昨年も、今年も少なく、予防接種の効果が見られます。医療費の節約にも役立っているものです。
ところが市は今年3月議会でこの補助金を半減したのです。

泉町交差点に右折レーンを「調査・設計」が今年度事業に

国道471号線と千歩島線が交差する泉町交差点に右折レーンがなくて、通勤時にたいへん混雑します。日本共産党小矢部市委員会は10年以上前から交差点改良を求め、富山県に対して要望を続けていました。
国道471号整備促進期成同盟会が7月13日、クロスランドおやべで開かれ、「令和2年度事業箇所」が示されました。それによれば、小矢部市泉町について調査、設計が事業内容として示されました。これは、2020年度事業箇所が富山県内10箇所中、小矢部市内4箇所の一つに位置づけられています。その他の3箇所は、谷坪野地内道路改良（掘削工）、茄子島地内・島分橋の橋梁補修（防錆工）、清水地内の路肩拡幅です。



新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、若い世代のあいだでの感染も増えているもとで、インフルエンザ流行の季節を迎えようとしています。新日本婦人の会では「子どもたちがインフルエンザや新型コロナウイルスに感染して苦しまないようにしたい」と、この冬の流行期に間に合うように市が対策を具体化するよう求めて、引き続き子どもたちのためのインフルエンザ予防接種の署名を集めています。

子育て支援を請願

桜井市長あて請願署名は、子育て支援の立場から、子どものインフルエンザ予防接種への補助額1回2千円と、準要保護児童の就学援助所得基準の復活を求めています。



小矢部市では2017年度から、子どものインフルエンザ予防接種に1回2000円補助され、子育て世代に喜ばれています。ところが2020年度の予算で2000円から1000円に減らされました。
また就学援助を受ける世帯の所得基準を生活保護基準の1.5倍から1.2倍へ引き下げられました。
この二つは、生活が苦しいなかで子育てしている家庭に大きな打撃となっています。そのため次の事項を請願します。

請願事項

1. 子どものインフルエンザ予防接種の1回当たりの補助額を2000円に戻してください。
2. 就学援助対象世帯の所得基準について、これまでの生活保護基準の1.5倍に戻してください。

今週のスタンディング・アピール 「#さよなら安倍政権 自公+維」

憲法をまもる小矢部の会のスタンディング・アピールは17日朝、石動駅南口交差点で行われました。新型コロナウイルス感染症対策が求められているにもかかわらず、国会開催要求に答えようとしない安倍政権への憤りを胸に、手書きのプラスタが次々と登場、「#さよなら安倍政権 自公+維」「ジェンダー平等の実現を」「日本も核兵器禁止条約に参加を」と、通行する車や歩行者にアピールしました。

